

令和4年6月定例記者会見

令和4年6月30日（木）

1 冒頭コメント

今日は2件用意していますが、冒頭に熱中症関係と新型コロナウイルス感染症関係、ラッピングバスキャンペーンの話をさせていただきたいと思います。

まず、熱中症についてです。令和3年6月の熱中症の搬送人数は18人でしたが、令和4年6月は既に66人で、昨年の2.7倍となっています。また、発生場所としては、住居などが多くなっています。

温度と湿度、ふく射熱を取り入れた指標である「暑さ指数」が33以上になると、環境省が熱中症警戒アラートを出しています。今日も注意が必要な状況になっていますので、「熱中症を予防する3つのポイント」である「涼しい場所でひと休みを心掛けましょう」「のどが渇かなくてもこまめに水分を補給しましょう」「暑いところを避けましょう」という点に気をつけていただきたいと思います。熱中症は重症化すると命に関わることもありますので、注意していただければと思います。

2点目は、新型コロナウイルス感染症の状況についてです。全国の様子は、6月17日から19日を境として、前の週よりも陽性者数が増えています。大分県と大分市の状況は、昨日は県が265例、市が171例、今日も午後3時に発表しますが、大分市が133例と昨日より少ないですが、8日間連続で前の週の同じ曜日を上回っています。

次に、抗原検査センターについてですが、今日発表の陽性者数は8人となり、また増加しています。大分駅前抗原検査センターは午前9時から午後9時まで、鶴崎と明野は午後1時から午後5時までですが、感染状況を見ながら、開設時間を延長する必要があるのではないかと考えています。

次に、市長からのメッセージについてですが、昨日で第499報となりました。陽性者が出たときにメッセージを出しているのですが、本日で第500報になってしまいました。特にこの3日間は、陽性者が急増していますが、個別のケースを見ますと、例えば地域でのスポーツ活動や事業所での感染が多く確認されています。

市民の皆さんへのメッセージとして、3つあります。まず、抗原検査センターの活用をお願いしたいというのが1つ目です。体温計と同じように抗原検査センターを活用していただきたいと思います。大都市圏への出張から帰ってきて陽性になった方がいらっしゃいますが、抗原検査センターで確認できれば、家族や職場の同僚にうつさずに済みます。

2つ目としては、冷房をつけて換気をしないと感染する可能性が高まりますので、換気はこれまで同様に行っていただきたいと思います。

3つ目としては、部活動やスポーツクラブなどでの感染事例を見ると、練習の後にみんなで集まって、着替えをしたり、試合の反省会をしたりしているときに感染しているようです。無防備になったときに感染する可能性が非常に高くなりますので、注意していただきたいと思います。

子育て世帯生活支援特別給付金と住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の二つの給付金に

ついてです。児童扶養手当を受給しているひとり親世帯への5万円の給付が本日振り込まれます。そして、児童手当または特別児童扶養手当を受給されている住民税非課税の子育て世帯には、7月29日に振込みを行う予定です。

1世帯当たり10万円の住民税非課税の世帯等に対する給付金については、新たに対象となる世帯の方には7月下旬から順次振込みを行う予定です。

無症状の陽性者数については、陽性者数自体が減っていたので最近は減っていましたが、6月29日の陽性者は172人で、そのうち26人が無症状でした。今日は133人で、症状なしが5人です。昨日多かったのは、医療施設関係でクラスターがあり、陽性者のほとんどが症状のない方だったからです。

小学校と中学校の学級閉鎖数も増えてきています。しばらく学級閉鎖はなかったのですが、6月中旬に増え始めて、28日では小学校は2クラス、中学校は2クラスの合計4クラスが閉鎖されています。

保育所等の休園とクラス閉鎖及び登園自粛の数も、同様に増え始めています。休園はゼロですが、29日は、閉鎖が6クラス、自粛が1クラスとなっており、自粛者数が12人です。

最後に、ラッピングバスのキャンペーンについてお知らせします。このラッピングバスについては、ラグビーワールドカップのときに、空港バスをラッピングして大分市をPRしようということで運行が開始され、現在も「関あじ・関さば号」と「高崎山号」、「宗麟・ザビエル号」の3台が運行中です。

今年は新たに、ラッピングバスの写真をInstagramに投稿していただいて、投稿された方の中から、四半期ごとに6名を選んで大分市の特産品をプレゼントするというキャンペーンを行います。第1期は7月31日まで、第2期は9月30日まで、第3期は12月31日まで、第4期は3月20日までとして、その期限ごとに抽選で大分市の特産品をプレゼントします。

ラッピングバスの取組みを始めて4年目になりますが、今年はこのようなPRキャンペーンを行っていきます。

1 発表項目

《1. 「令和4年度 愛媛・大分交流市町村連絡会議 首長サミット」を開催します》

1点目は、令和4年度の愛媛・大分交流市町村連絡会議首長サミットの開催についてです。7月14日の午後2時から4時まで、レンブラントホテル大分で行います。

この愛媛・大分交流については、大分県中部振興局等が中心となって行っていたものを引き継ぎ、今は大分市と八幡浜市が中心となって行っています。

当初は今年の2月2日に会議を開催する予定だったのですが、新型コロナの感染拡大の時期で、それぞれの首長さんも動きづらいということで延期して、今回開催することになりました。

出席者についてですが、大分県は18市町村中、9つの自治体の首長が参加し、愛媛県も20市町村中、9つの自治体の首長が参加します。両県の人口の合計は約245万人ですが、そのうちの約106万人、約43%の人口が住んでいる地域の首長が参加する予定です。

テーマについてですが、分科会に分かれて議論を行います。第1分科会が新型コロナウイルス感染症対策、第2分科会が圏域間の交流人口の拡大、第3分科会が圏域外から人を呼び込む施策

ということで、例えば豊予海峡の話はこの3分科会で議論しようと思っています。それぞれの地域の発展、あるいは地域の共通の課題について、首長さん方に集まっていただいて検討します。

この地域は歴史的にも、経済的にも関係が深い地域で、別府ー八幡浜と臼杵ー八幡浜、佐賀関ー三崎の3つのフェリー航路があります。大分県の人口より多い、年間約120万人がフェリーを使って往来し、車でいうと60万台ぐらいが行き来している非常につながりの深い地域です。

令和2年度は、令和3年2月2日にオンラインでこのサミットを行いました。連携を深めて活性化しましょうという初の首長サミットを、大分・愛媛12市6町で行いました。

そのほかに、例えば市報で、宇和島から愛南町までの特産品を紹介するページを設けたり、サイクリングのときに相互にPRしたり、愛媛大分のホームページの作成等を行って、できるだけ交流をしながら圏域の魅力発信と課題解決を進めてきました。

令和4年度も今度のサミットで事業計画の議論をするのですが、農泊体験やスポーツ交流、特産品の魅力発信イベント、郷土料理の学校給食の体験事業、周遊スタンプラリー、道の駅等の連携などを議論して進めていくことにしています。

大分県側の8市1町は、大分都市広域圏の自治体と豊後水道沿岸の自治体である佐伯市で、愛媛県側は南予と呼ばれる地域に当たる自治体が参加していただいています。それから、大分県と愛媛県にもオブザーバーとして参加していただく予定です。こうしたことを通じて交流を深めて、豊予海峡の機運もここで高めていければと思っています。

会議開催時は、分科会の議論のみクローズでと思っていますが、そのほかは基本的にオープンで行いたいと思っていますので、ぜひ取材をしていただけるとありがたいと思います。

《2. 「大分市ふれあい交流宿舎のつはる西部の楽校」がオープンします》

2点目は、大分市ふれあい交流宿舎のつはる西部の楽校が明日7月1日にオープンしますので、御紹介させていただきます。

この施設は野津原西部小学校の跡に整備されました。野津原には西部と中部、東部、今市という4つの小学校がありましたが、東部小学校は現在の野津原小学校になり、中部小学校はアーティストの方が活動するアトリエになり、ここには宿泊施設を整備しました。

場所は、ななせダム、道の駅のつはる、のつはる天空広場からも車で5分ぐらいのところにあります。

施設についてですが、体育館は小学校で使っていた設備をそのまま残しています。宿泊室棟は、2人部屋が2室と5人部屋が6室あり、男女別の浴室もあります。また、グラウンドでは、地域の皆さんと協議をして、バーベキューや花火を行うことができますようにしています。

料金については、一般の方は3,000円、小中学生は1,500円で、市内在住の小中学生は750円としています。これは宇曾山荘等の料金を参考に設定しています。

食事については、館内の厨房設備を利用して料理ができるほか、注文していただければ宇曾山荘から食事を届けることもできます。

運営については、地域の野津原西部校区まちづくり協議会と協議を行い、宿泊業務等の管理などの一部業務について、地域住民で構成されるのつはる西部の楽校運営協議会に委託しています。基本的には、市の教育委員会が直営で管理運営を行いますが、地域の皆さんが施設の運営を支えるという体制を取っています。

予約が既に入っており、7月初旬から地元の子供会や市内のスポーツ少年団、ガールスカウトの皆さんが利用される予定です。そして、9月には音の森フェスティバルが行われる予定ですが、その関係者が宿泊する予定です。

のつはる天空広場や道の駅のつはる、ななせダム等と連携しながら、にぎわいづくりや魅力の向上に役立つような使い方をしていただけるのではないかと期待しています。

明日午後4時から開所式を行って、その後、内覧会を実施する予定にしていますので、ぜひ取材していただいて、情報発信していただけるとありがたいと思います。

2 質疑応答

《冒頭コメント 熱中症について》

記者 熱中症についてお伺いします。住居で33人が搬送されていますが、冷房を使用していなかったなどの注意点あれば教えていただけますか。

担当課 高齢者の方が多いのですが、高齢者の方は体内の水分量が少なくなっており、温度に対する感覚が少し鈍くなっています。この程度で大丈夫だろうと冷房温度を下げなくても適温だと感じてしまうことがあるので、少し冷房の温度を下げたお休みになるなどしていただくと、効果的ではないかと思えます。

市長 高齢者の方は特に気をつけてくださいというメッセージだと思います。

記者 救急搬送は、日中も夜間も関係なく多いのですか。

担当課 暑くなってからは日中が多くなっています。

《冒頭コメント 熱中症について》

記者 熱中症についてですが、前年比で増えているのはどのような原因が考えられますか。

担当課 昨年までは、新型コロナの関係で屋外に出ることが制限されていたと思います。最近は屋外に出ることも多くなり、その中でマスクを着用したまま活動することが多いのが原因の一つではないかと思えます。マスクを外していい場面では外すなどの対応をしながら、感染防止に努めていただければと思っています。

市長 それに加えて、温度を比べているデータはないですが、今年は梅雨明けが早くて、気温が高いこともあるのではないかと思います。

《1. 「令和4年度 愛媛・大分交流市町村連絡会議 首長サミット」を開催します》

記者 前はオンライン開催でしたが、今回はどのようなことを考慮して対面での開催としたのか教えてください。

市長 今年2月に開く予定で、新型コロナの影響で集まれないのであればオンラインで開催することも考えようと思いましたが、こうした集まりは、顔を合わせて意見交換をしたり、目を見合わせながら議論したりすることが非常に重要だということで、ぜひ対面で行いたいということで延期して、今回開催できることになりました。日頃の様々な課題について、対面で意見交換するのは非常に意義のあることだと思います。

記者 交流を深めて豊予海峡ルートの機運を高めたいというお話がありましたが、そのあたりをもう少し詳しく教えてください。

市長 交流人口を増やしていくことが、豊予海峡も含めて、それであれば陸路でつなげていこうということにつながっていくと思います。

例えば八幡浜市や臼杵市、別府などで、フェリーターミナルの整備などを行っています。フェリー会社との関係もありますし、船便をどうやって振興させていくかという議論もありますが、短期的に言うと、陸路でつながるとそのような施設を今後どうするかという議論も出てきます。ですから、それぞれのタイムテーブルも合わせながら、それぞれのまちづくりの考え方というのをすり合わせていくと言いますか、どのような問題が起こるのかというところも意見交換しておくことが大事だと思います。

中期的に見ると、フェリー航路の存在は、観光等に活用するにしても、地域にとって重要であるというコンセンサスができるのではないかと思います。そうしたところも、このような公式の会議の場で議論することを積み重ねていくことが大事だと思います。

《1. 「令和4年度 愛媛・大分交流市町村連絡会議 首長サミット」を開催します》

記者 第3分科会だけでも公開にというのは難しいのでしょうか。

市長 事務方で話し合いをしたときに、議論を全てオープンにすると、かんかんがくがくの議論がしづらくなるということで、恐縮ですが、そのようにさせていただきたいと思います。後でこういう議論がありましたという会見をさせていただきます。

記者 そのかんかんがくがくのところを取材したいのですが。

市長 そうですね、できるだけリアルに報告をさせていただけるようにしたいと思います。

《その他 ニホンザルのウルグアイ寄贈計画について》

記者 先日、ウルグアイに高崎山の猿を寄贈することを発表された後、動物愛護団体から反対意見等あったと思いますが、この計画を撤回する可能性はあるのですか。また、どのように進めていきたいのか教えてください。

市長 ウルグアイに猿を寄贈する話は、例えば在ウルグアイの日本国大使館の大使だった眞銅さんなど、様々な方の御尽力で進めている話です。進めるに当たっていろいろな議論が出てくるのは当然のことですので、一つ一つの御意見に耳を傾けていきたいと思います。

そして、これは相手がある話です。ウルグアイの動物園はニホンザルが受け入れられるような体制になっているのか、市議会でも議論がありましたが、そのようなことも確認しなければなりません。

何が何でも当初の予定通り進めていくということではなく、慎重に調査・確認を行いながら進めていくということです。進めるという姿勢は変わりませんが、もちろん受入れ側の都合もありますし、様々な御意見を伺いながら進めていくことになろうかと思います。

《その他 副市長人事について》

記者 新しい副市長の件についてお聞きします。佐藤上下水道事業管理者を充てられるということで、新しい副市長には主に市政のどの分野を担ってもらおうというお考えですか。

市長 本日まで木原副市長が担当していた部分を担当してもらおうと考えていますので、都市計画や交通、上下水道などを引き継いでもらいます。当面、久渡副市長の分担のところはそのまま久渡副市長が担当します。

《その他 参院選について》

記者 参院選についてお伺いします。市長は古庄さんと足立さんの陣営の出陣式に出席されたようですが、どういった経緯で出席されたのかと、どのような気持ちだったのかをお聞かせください。

市長 出陣式への招待があったのが古庄さんと足立さんの2陣営でしたし、時間を見たら両方とも行けるので参加させていただきました。参加したときの気持ちは、両候補が決意表明をされるときに話すことを聞きたいと思い、参加させていただいた次第です。

記者 では、特定の候補者を応援するという事ではないということですか。

市長 はい、そうです。大分市の発展に資する取組みを行っていただけの方がありがたいと思いますので、それぞれの政策を聞かせていただくという気持ちで出席しました。

記者 期間中に応援弁士に立つなどの予定はありますか。

市長 ありません。